

JA全農岐阜 平成28年度事業報告の概要

より近く より深く より前へ

事業概況

3か年計画(28~30年度)の初年度として、生産・流通・販売面でさらに深化・拡充した重点実施策(①持続可能な農業生産・農業経営づくりへの貢献、②海外事業の積極展開、③元気な地域社会づくりへの支援)を中心に取り組むとともに、「農林水産業・地域の活力創造プラン」に係る対応をすすめました。

生産・流通・販売面でさらに深化・拡充した重点実施策の実践および「農林水産業・地域の活力創造プラン」に係る事業別具体策の策定

- 「持続可能な農業生産・農業経営づくりへの貢献」では、販売力強化に向けた米の事前契約や外食事業者への出資など安定的取引の拡大、広域連合倉庫や青果物一次加工施設の設置、トータル生産コスト低減に向けたモデル55JAでの生産現場の課題に対応した省力・低コスト資材や生産性向上技術の実証
- 「海外事業の積極展開」では、中国の大手リン酸製造会社やブラジルの穀物会社への出資による肥料・飼料原料の調達力の拡充、英国食品卸会社の買収による輸出先国での農畜産物の販売力強化
- 「元気な地域社会づくりへの支援」では、組合員・地域住民の利便性向上に向けた、JA購買店舗の業態転換、JAタウンなどインターネット販売事業の拡大、ライフラインSSの運営提案
- 「農林水産業・地域の活力創造プラン」に係る対応では、今後の農業生産基盤、食料消費の動向など分析・評価し、本会自らの課題として農業者の所得増大に向けた生産資材事業・販売事業の実施具体策・年次計画を組織決定

岐阜県本部 事業別実施事項

全農全体の重点実施策にもとづいた、岐阜県本部の基本戦略(①農業者の所得増大に向けた農業経営・生産基盤強化への貢献、②県産農畜産物の輸出拡大、③地域に貢献するJA経済事業の構築)の実現を目指し、以下の施策に取り組みました。

営農支援事業

- 担い手サポートセンターや事業部門との連携によるモデル法人への改善策の提案
- JA営農指導担当者の育成支援として、施肥診断技術、防除技術、野菜栽培技術などの各種技術研修会を開催
- 土壌分析に基づく適正施肥指導の実施、省力技術の実証による生産コスト削減に向けた普及推進
- いちご新規就農研修事業による新規就農支援(累計30名)
- 海外における県産農畜産物のPR(ベトナム・タイ・アメリカにおけるトップセールス、シンガポール、タイ、香港、マレーシアにおける飛騨牛、富有柿等のフェア開催)

園芸事業

- 園芸生産法人の設立に向けた関係機関との協議実施
- 担い手に対するブロッコリーなど新規作付提案による生産基盤の拡大
- 生産者手取りの向上・安定化に向けた市場外直販や、市場との買付販売の拡大
- 柿の「ネオスウィート」、苺の「華かがり」の知名度向上やブランド育成に向けた取り組みの実施
- 段ボールの原紙集約によるコスト低減の実施
- 農機・鉄コンテナレンタル事業を活用した加工・業務用野菜の産地育成と取扱拡大

生産資材施設事業

- 生産者手取り向上に向けた低コスト資材、省力技術・資材の開発・普及、生産性向上に資する資材・技術の提案、汎用肥料(オール14)の責任引取を前提とした事前予約の取り纏めによる価格メリットの反映
- 平成29年10月の県域物流エリア拡大に向けた調査・協議の実施
- 担い手向け農機点検整備研修会の開催やJA営農部門やMCとの連携による担い手に対する推進力の強化
- MC展示会等における農機レンタル事業の提案
- 農産物の品質向上や作業環境改善に向けた共同利用施設の統合整備・設備更新・増強提案

生活事業

- ボランティアチェーンの活用やドライ商品共同配送や共同仕入などコスト削減策によるAコープの経営改善
- くらしの支援事業として、生活渉外制度「生活アドバイザー」と移動販売車の導入を支援
- 小規模・家族葬に対応した斎場の設置促進
- 最適な葬祭事業の体制構築に向けて、JA独自の運営体制やJA・全農協同事業体による運営体制への移行に向けた取り組みの実施
- JA葬祭事業の利用向上を目指し、友の会会員方式や定期積金会員方式による組合員の囲い込みの実施

米穀事業

- 競争力のある米づくりに向けた県指導機関、JAグループが連携した生産指導体制の構築
- 伸長する業務需要への対応として「ほしじるし」や「あきさかり」など多収性品種の試験栽培を実施
- 集荷数量拡大に向けたJA別の生産集荷戦略会議の実施、水田担い手協議会や担い手への集荷推進の実施
- 中食・外食に対応した業務用うるち米の新規取引先の獲得(6社)および既存取引先の数量拡大
- 主食用米の販売力強化に向けたパートナー卸とのタイアップ推進による量販店での取扱拡大、棚田米等の商品開発

畜産事業

- 首都圏高級スーパーとの関係強化による飛騨牛の取扱拡大
- 地域別繁殖センター設立に向けた飛騨牛振興プロジェクト推進協議会による検討
- 繁殖雌牛預託事業要領の施行による繁殖雌牛導入支援
- 県内素牛自給率の向上と優良素牛の確保に向けたF1雌牛を利用した受精卵2卵移植の実証
- 飛騨牛の輸出拡大(輸出量9トン、ベトナム、タイ、アメリカでのトップセールス、香港R&Bショー)
- 飛騨旨豚の出荷拡大に向けた畜産クラスター協議会の設立

自動車燃料事業

- 営農車の買い取り購入、主要メーカーとの連携による自動車特別推進運動による新車販売の強化
- ウェブサイトを活用したJA間の中古車在庫情報の共有化、中古車担当者の育成指導による中古車販売の強化
- SSのセルフ化に向けたJA別年次計画の策定、地域の燃料油の安定供給に向けたライフラインSSの運営助成要領を策定
- 免税軽油制度の周知に向けた研修会等の実施
- 持続可能なLPガス事業体制整備に向けたプロジェクト設置

管理部門

- 県本部の収支改善に向けて、事業別に収支分析と事業課題を整理、平成29年度以降に取り組む収支改善策を検討
- 管理部門スリム化(平成29年4月からの情報システム業務の全国本部集約)に向けた協議を実施
- 職員のコンプライアンス意識の徹底(法令・コンプライアンス関連研修、誓いの日の取り組み、一斉事業点検、リスク管理の徹底)

経営概況

1. 総供給販売高

総供給販売高は、計画 944 億円に対して実績 942 億円、計画比 100%とほぼ計画並の実績となりました。

米穀事業については集荷数量の減少、自動車燃料事業については、石油事業におけるセルフSS化の遅れによる数量減、ガス事業における消費者戸数減少、生活事業については店舗の分量減の影響が大きく、いずれも計画を下回りました。単価高が続いた畜産事業、計画外の施設等が計上された生産資材施設事業は計画を上回りました。

なお、28年度計画に織り込んだ消費税増税による前倒し需要の影響額+848百万円を控除した場合は、県本部全体で計画を達成しています。

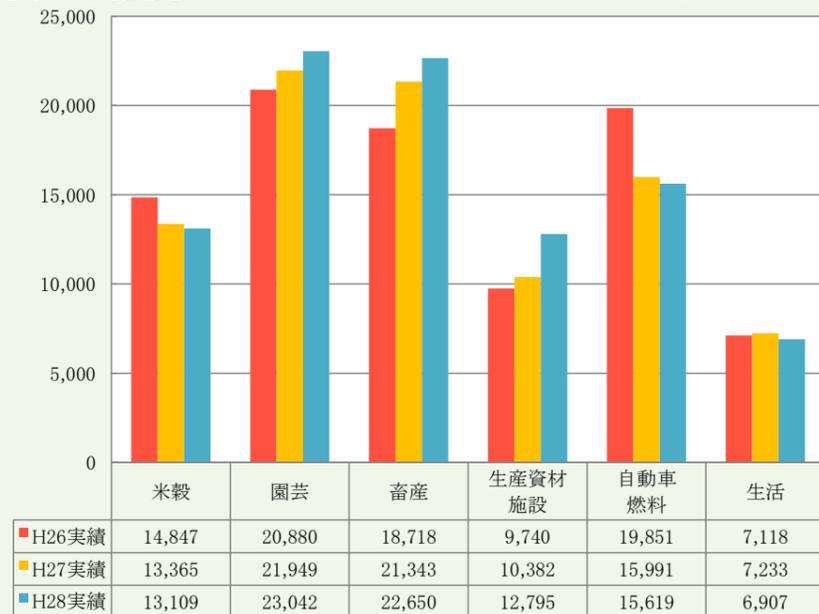
【事業別内訳】

(単位：百万円、%)

	28 計画	28 実績	27 実績	計画比	前年比
米穀事業	14,796	13,109	13,365	89	98
園芸事業	23,330	23,042	21,949	99	105
畜産事業	19,707	22,650	21,343	115	106
生産資材施設事業	12,591	12,795	10,382	102	123
自動車燃料事業	16,527	15,619	15,991	95	98
生活事業	7,404	6,907	7,233	93	95
県直売	59	58	53	98	109
合計	94,414	94,179	90,316	100	104

【年次別推移】

(単位：百万円)



2. 経営収支

(1) 事業総利益は、LPガスの価格下落による事業雑収入減少等の影響が大きく、和牛の相場高による収益増や各事業における事業直接費用の削減に努めましたが、計画 2,215 百万円に対して実績 2,137 百万円と計画を下回りました。

(2) 事業管理費については、全体的な費用圧縮に努めた結果、計画 2,135 百万円に対して実績 1,978 百万円と、計画から節減しました。

以上により、事業利益は計画 225 百万円に対して実績 216 百万円となり計画を下回りました。

なお、事業利益段階において 28 年度計画に織り込んだ消費税増税の影響+52 百万円を控除した場合は、県本部全体で計画を達成しています。

【損益計算書】

(単位：百万円)

	28 計画	28 実績	27 実績
総供給販売高	94,414	94,179	90,316
粗収益	1,963	1,832	1,867
事業直接損益			
事業雑収入	623	515	490
事業雑費(-)	169	137	139
事業促進費(-)	48	32	37
事業直接収益	1,327	1,294	1,243
事業直接費用(-)	1,335	1,274	1,247
貸倒引当金戻入	40	80	43
貸倒引当金繰入(-)	40	83	80
事業総利益	2,361	2,194	2,137
事業管理費			
人件費	1,409	1,337	1,330
業務費	140	112	109
事務費	112	106	98
諸税分担金	143	133	135
施設費	211	178	184
減価償却費	85	76	79
本部共通管理経費	33	32	33
(計)	2,135	1,978	1,972
事業利益	225	216	165

子会社・関連法人等

1. 岐阜アグリフーズ㈱

ア. 売上高

(単位：百万円、%)

	28 計画	28 実績	27 実績	計画比	前年比
食鳥事業	3,661	3,632	3,590	99	101
食肉事業	2,385	2,041	2,268	86	90
特販事業	561	616	598	110	103
生産事業	499	440	388	88	113
合計	7,105	6,728	6,844	95	98

イ. 損益

(単位：百万円)

	28 計画	28 実績	27 実績
営業利益	79	192	57
当期純利益	48	124	62

2. 岐阜県JAビジネスサポート㈱

ア. 売上高

(単位：百万円、%)

	28 計画	28 実績	27 実績	計画比	前年比
運輸事業	2,290	2,240	2,248	98	100
燃料事業	5,158	4,978	5,181	97	96
受託事業	141	137	126	97	109
合計	7,589	7,354	7,554	97	97

イ. 損益

(単位：百万円)

	28 計画	28 実績	27 実績
営業利益	53	72	86
当期純利益	35	54	59

端数処理については、総供給販売高・売上高は四捨五入、その他は切り捨てのため合計が一致しないことがある。